

## 第 11 回県政インターネットモニターアンケート集計結果

### インターナショナルスクール等に関する意識調査 障害を理由とする差別の解消の推進等に関するアンケート 県警察が制作した特殊詐欺被害防止広報用テレビCMに関するアンケート

※グラフの中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

※各回答項目の割合（％）は、端数処理の関係上（小数第二位を四捨五入）、合計が 100％にならない場合がある。

#### ○ インターナショナルスクール等に関する意識調査

世界が、ヒト・モノ・情報の「大交流時代」を迎える中、本県の将来を担う人材の育成には、“世界の中の静岡県”というグローバルな視点が重要です。

インターナショナルスクールや国際バカロレアに関する御意見をいただき、今後のグローバル人材の育成を検討する上での参考にしたいと思っておりますので、御協力をお願いします。

#### ○ 障害を理由とする差別の解消の推進等に関するアンケート

平成 28 年 4 月に施行された「障害者差別解消法」では、障害のある人への差別的扱いの禁止等が求められています。そのため、県では、障害のある人への差別解消を考えるシンポジウムや、研修会等の開催を通じて、法律の趣旨や目的等についての理解促進を図ってきました。

そのような中、「障害者差別解消法」を具現化し、障害を理由とする差別の解消を推進するための実効性ある仕組みを盛り込んだ「静岡県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」を平成 29 年 4 月に施行しました。

この条例の施行に伴い、県民の皆様から障害のある人への差別の解消についてご意見を伺い、今後の取組の参考としたいので、ご協力をお願いします。

#### ○ 県警察が制作した特殊詐欺被害防止広報用テレビCMに関するアンケート

静岡県内における本年 8 月までの特殊詐欺発生状況は、暫定値で 238 件・約 4 億 2,467 万円（前年比+28 件・+約 2,723 万円）と、件数・被害額ともに増加傾向にあり、予断を許さない状況が続いております。

そのため、県警察では、本年 9 月から概ね 1 か月間、テレビCMを活用した特殊詐欺被害防止広報を実施しました。その効果・反響等について、多角的に検証し、今後の取組に反映するため、あなたのお考えを教えてください。

回答者数： 536 人（回答率：88.0%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	267	49.8%
	女性	268	50.0%
	その他	1	0.2%
年代	10代	4	0.7%
	20代	20	3.7%
	30代	70	13.1%
	40代	111	20.7%
	50代	134	25.0%
	60代	97	18.1%
	70代	77	14.4%
	80代	23	4.3%
	90代	0	0.0%
住所	東部	159	29.7%
	中部	199	37.1%
	西部	177	33.0%
	県外	1	0.2%
職業	自営業	27	5.0%
	会社員	186	34.7%
	公務員	12	2.2%
	パート・内職従事者	92	17.2%
	学生	12	2.2%
	無職	178	33.2%
	その他	29	5.4%

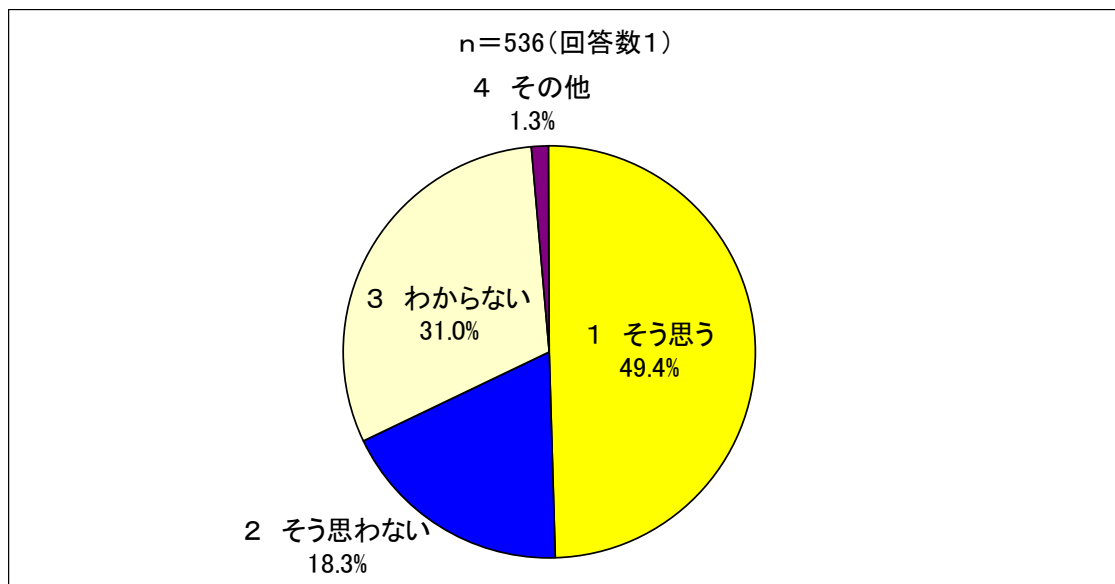
## ○国際ナショナルスクール等に関する意識調査

問1 あなたは、「国際ナショナルスクール」が静岡県内に必要だと思いますか。(回答数は1つ)

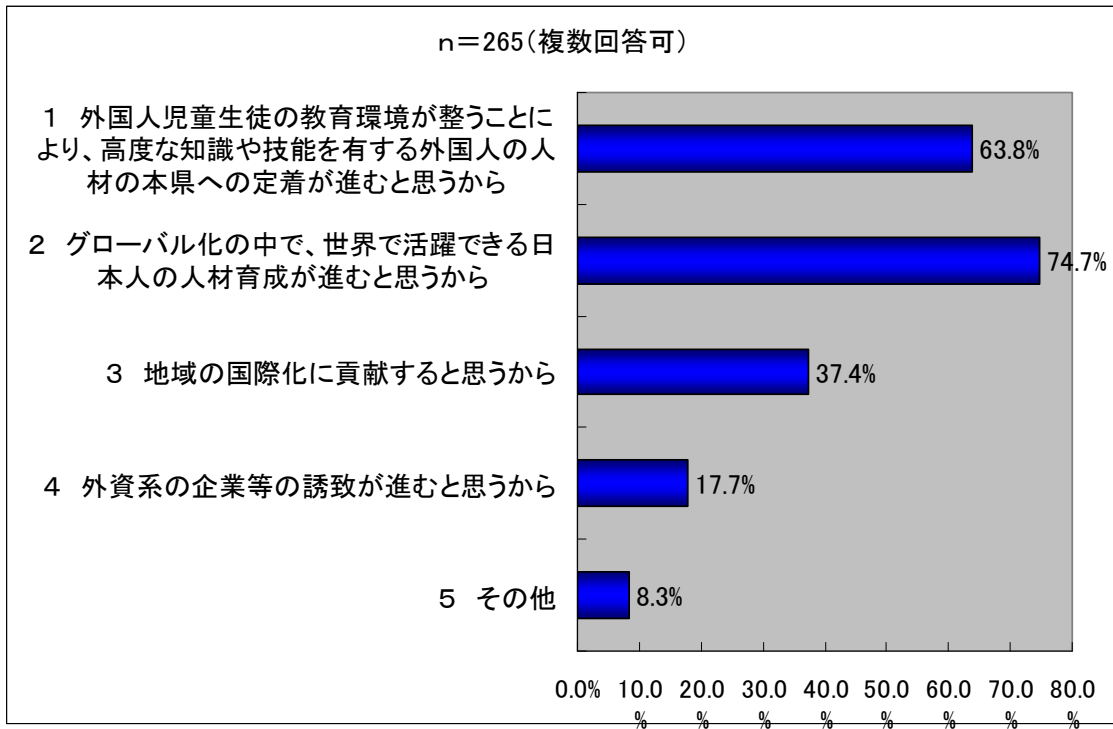
### ※国際ナショナルスクールの概要

法令上特段の規定はないが、一般的には国籍や民族、宗教等を問わず、外国人児童生徒を対象とし、主として英語で国際的な教育が行われる教育施設。高度外国人材の増加等から全国的に設置が進んでいるとともに、子供に英語を習得させたい等のニーズの高まりにより、日本人の子供が入学するケースが増えている。

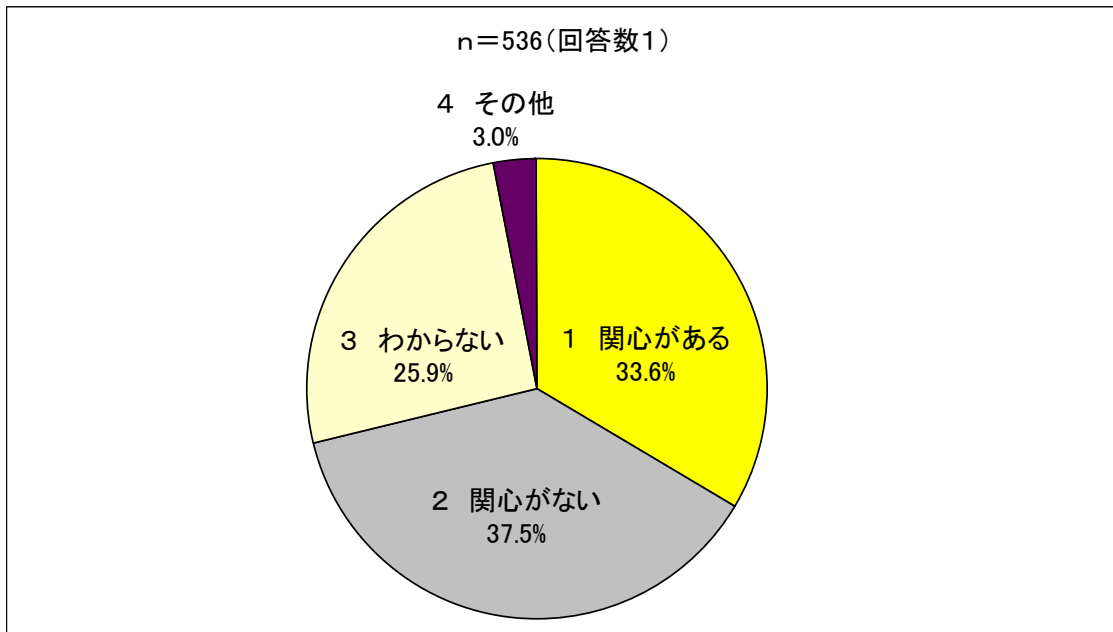
学校教育法上の「学校」に該当しないスクールに入学した場合は、卒業しても日本の小・中・高校の卒業資格を得ることができず、また、法で定める小・中学校9年間の教育を受けさせる義務(就学義務)違反となる等の課題もある。



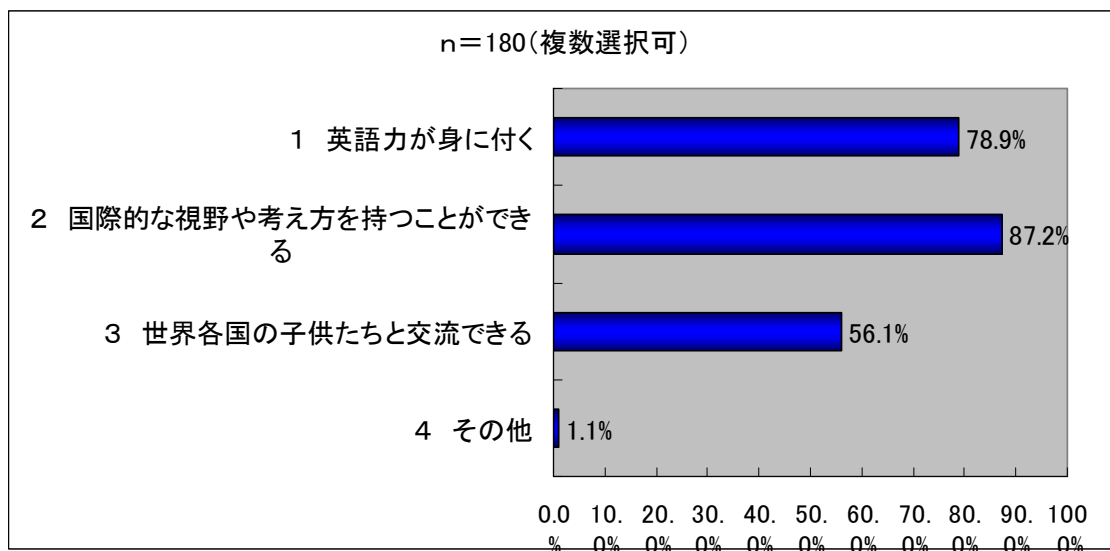
問1-2 問1で「1 そう思う」を選択された方に伺います。なぜ必要だと思えますか。(複数選択可)



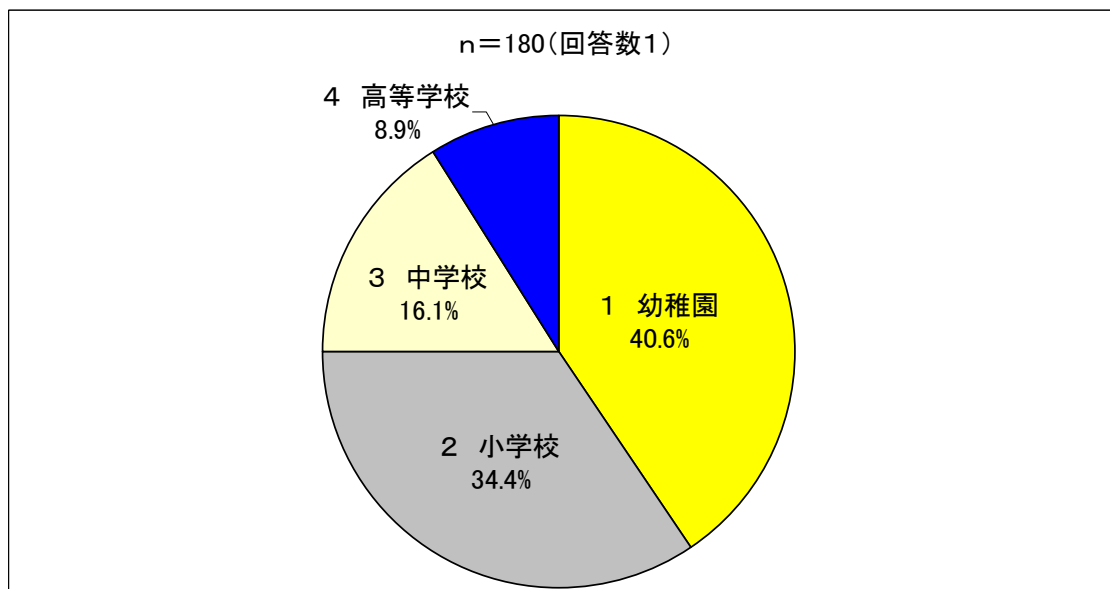
問2 あなたは、自分の子供や孫の就学について、インターナショナルスクールへの就学に関心がありますか。(回答数は1つ)



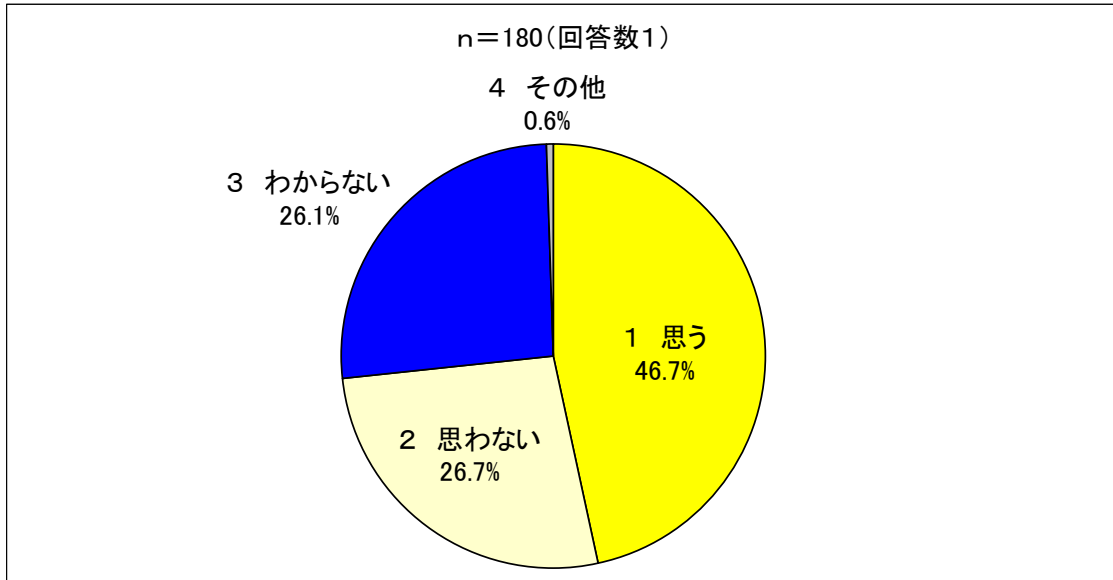
問2-2 問2で「1 関心がある」を選択された方に伺います。インターナショナルスクールについて、どんなところに関心がありますか。(複数選択可)



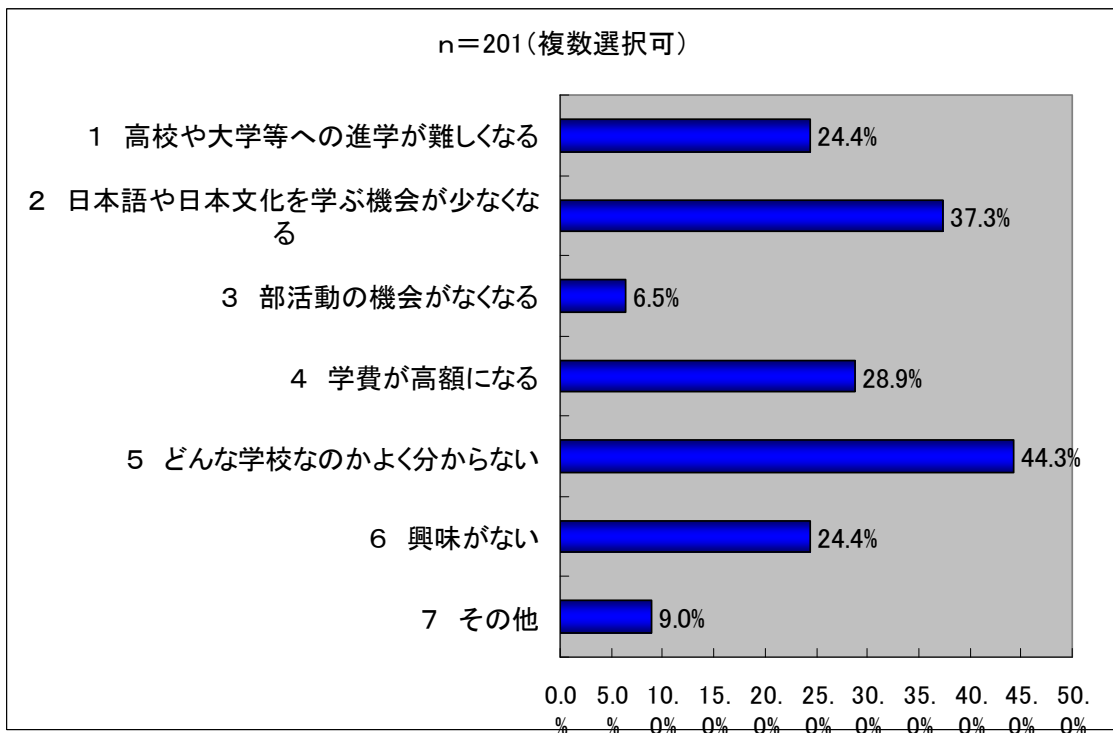
問2-3 問2で「1 関心がある」を選択された方に伺います。インターナショナルスクールについて、どの課程から入学させたいと思いますか。(回答数は1つ)



問2-4 問2で「1 関心がある」を選択された方に伺います。インターナショナルスクールについて、全寮制（平日のみ寮生活、土日や長期休暇時は帰宅可）であれば、自宅から離れた場所でも子供を入学させたいと思いますか。（回答数は1つ）



問2-5 問2で「2 関心がない」を選択された方に伺います。インターナショナルスクールについて、関心がない理由は何ですか。（複数選択可）



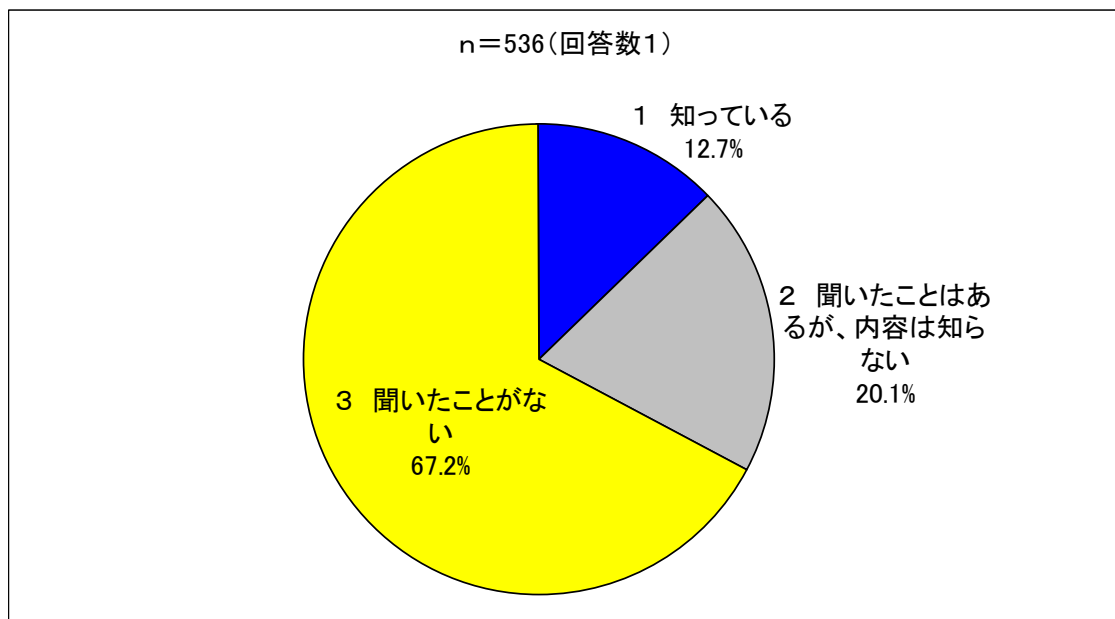
問3 あなたは、国際バカロレアという教育プログラムがあることを知っていますか。(回答数は1つ)

※「国際バカロレア」の概要

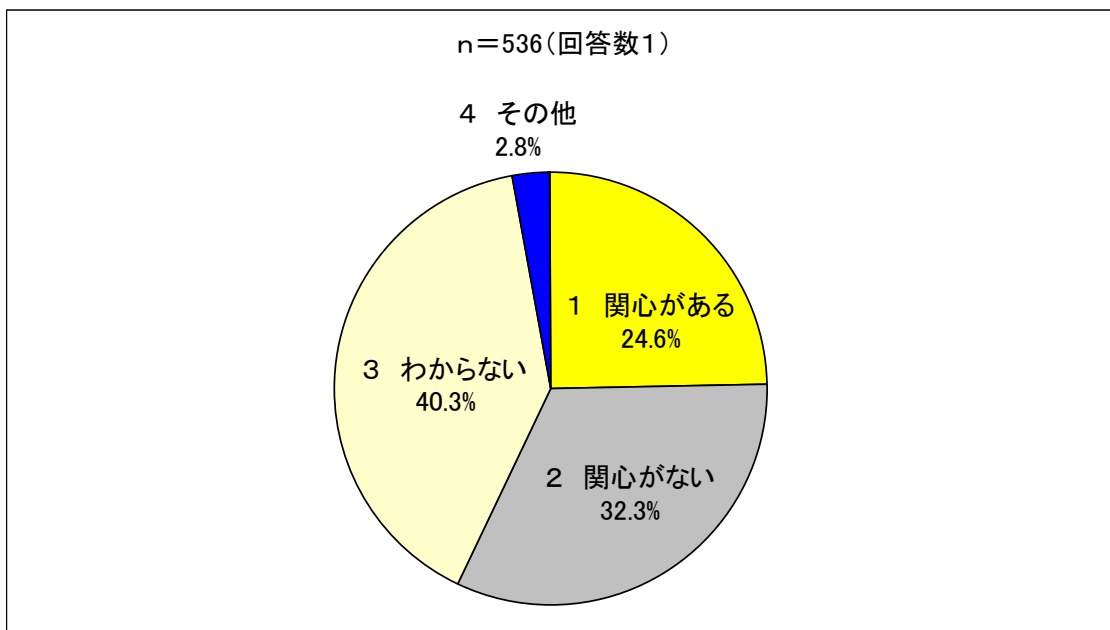
国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する教育プログラムグローバル化に対応できるスキルを身につけた人材を育成するため、生徒の年齢に応じて提供。

日本の高校レベルのディプロマ・プログラムは、国際的に通用する大学入学資格が取得可能であり、世界の大学入学者選抜試験で広く活用。

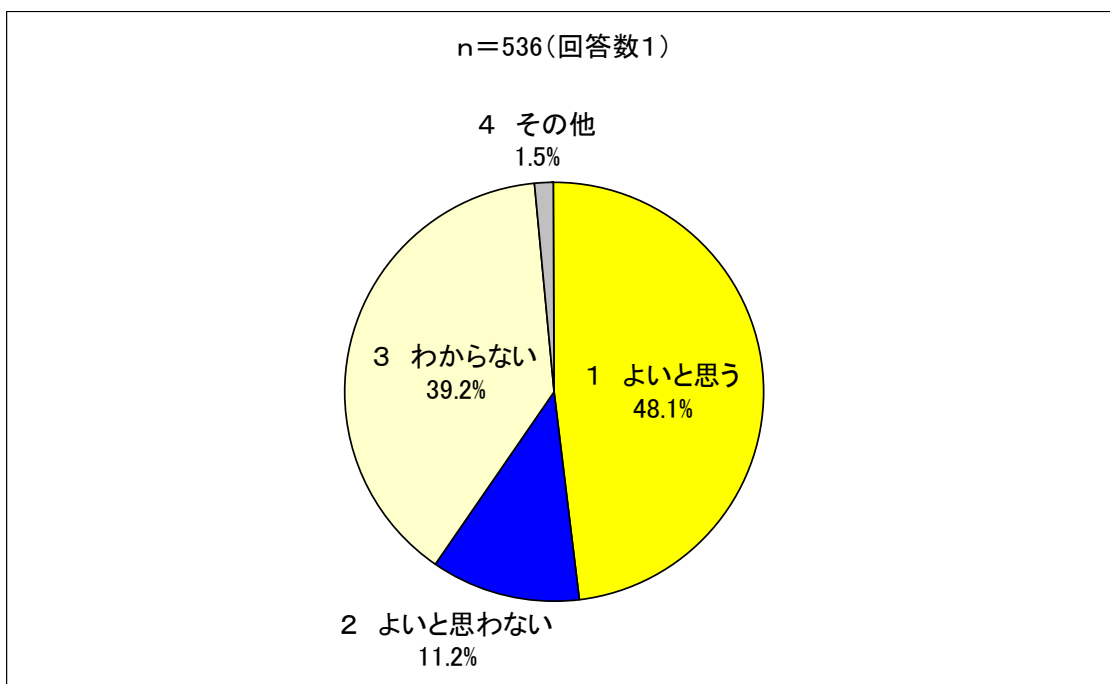
日本国内の認定校は99校あり（2019年3月時点）、増加傾向にある。



問4 あなたは、自分の子供や孫の就学について、国際バカロレア認定校への就学に関心がありますか。(回答数は1つ)

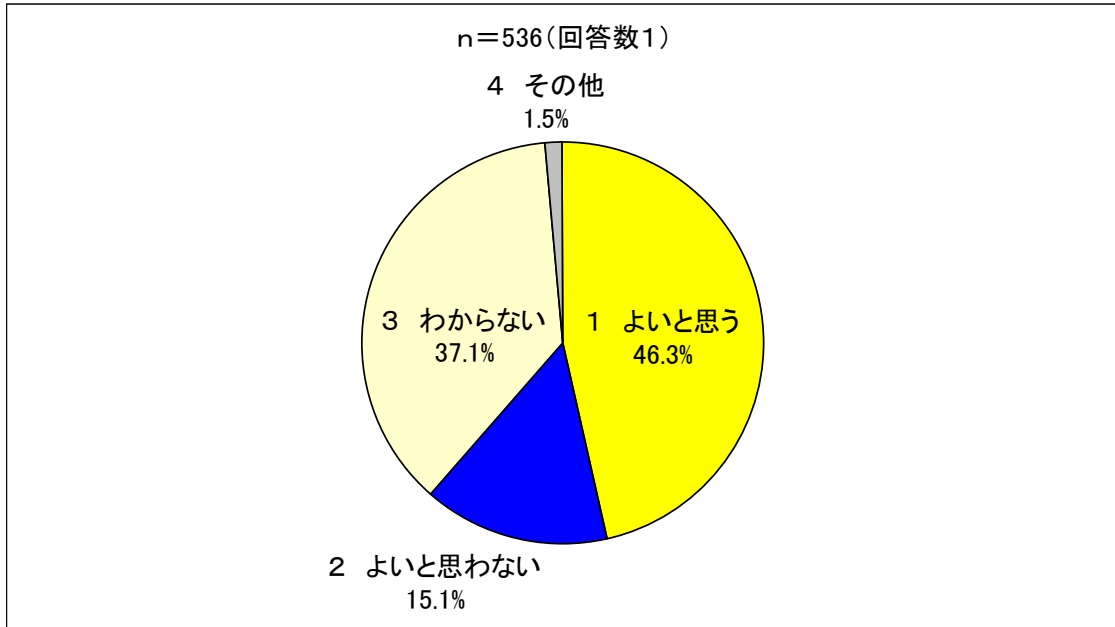


問5 現在、県内における国際バカロレア認定校は、中学校及び高等学校で1校ずつありますが、あなたは、今後増えたほうがよいと思いますか。(回答数は1つ)

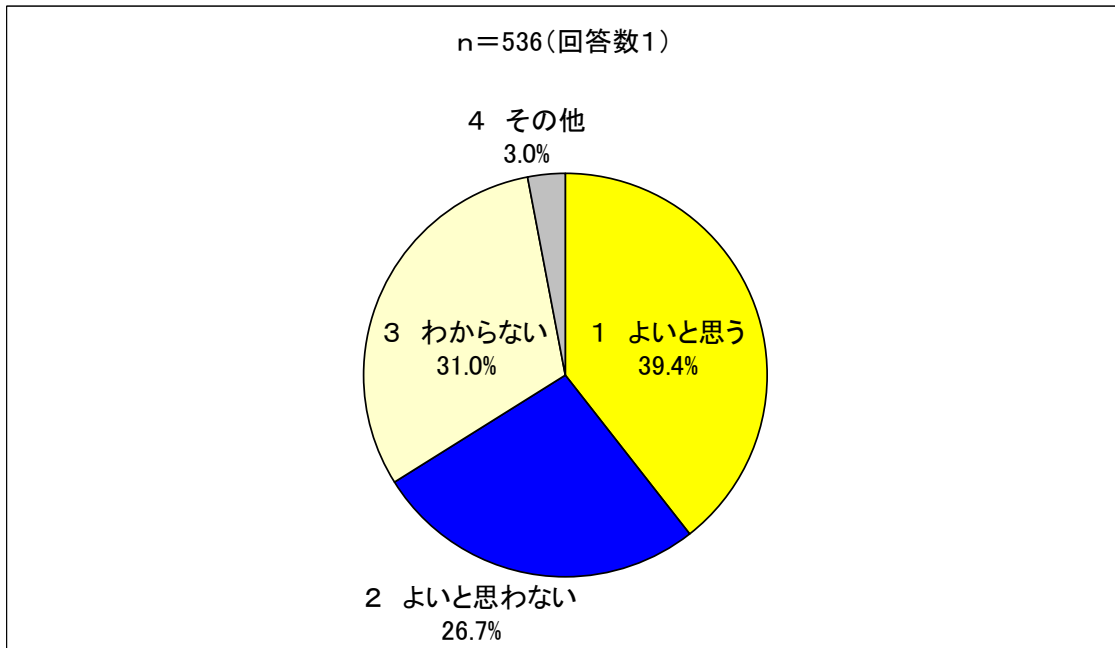




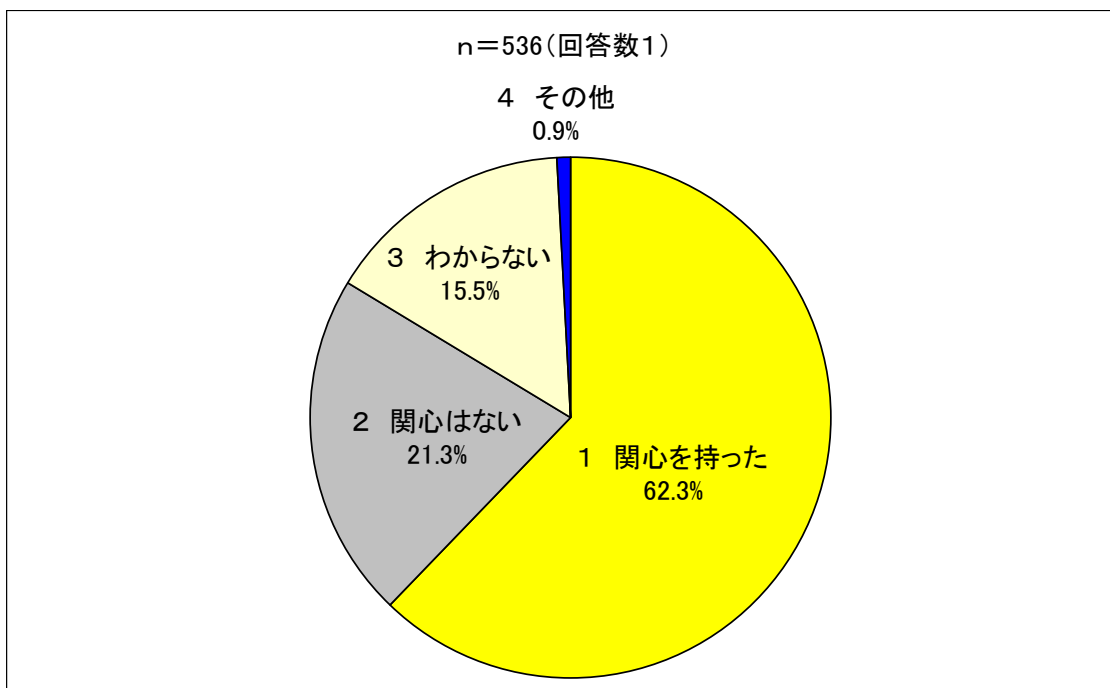
問6 国は国際バカロレアの普及・拡大を推進していますが、あなたは、小中高校において積極的に導入を進めたほうがよいと思いますか。(回答数は1つ)



問7 国際バカロレアのプログラムは全ての教科を英語で実施することが基本ですが、小中高校において、数学や理科、社会、音楽などの教科を英語で実施することをどう思いますか。(回答数は1つ)



問8 今回のアンケートを通じ、グローバル人材の育成に資する国際  
ショナルスクールや国際バカロレアについて関心を持ちましたか。(回答数  
は1つ)

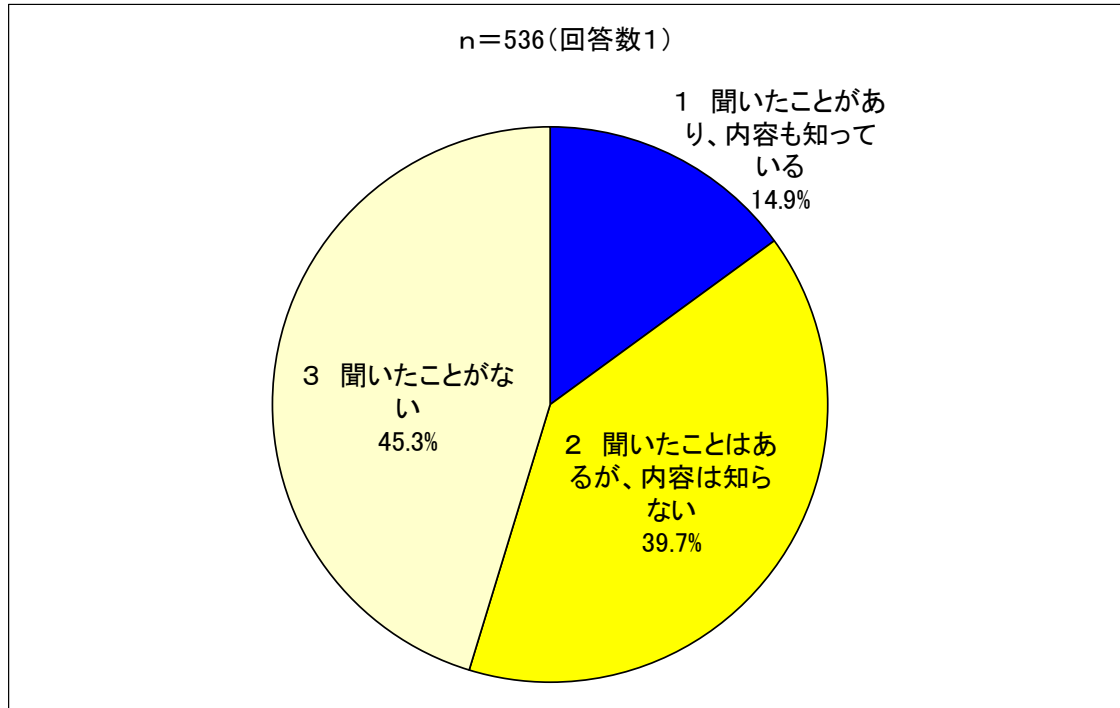


問9 インターナショナルスクールや、国際バカロレアについて御意見があり  
ましたら、御自由に御記入ください。(500字以内)

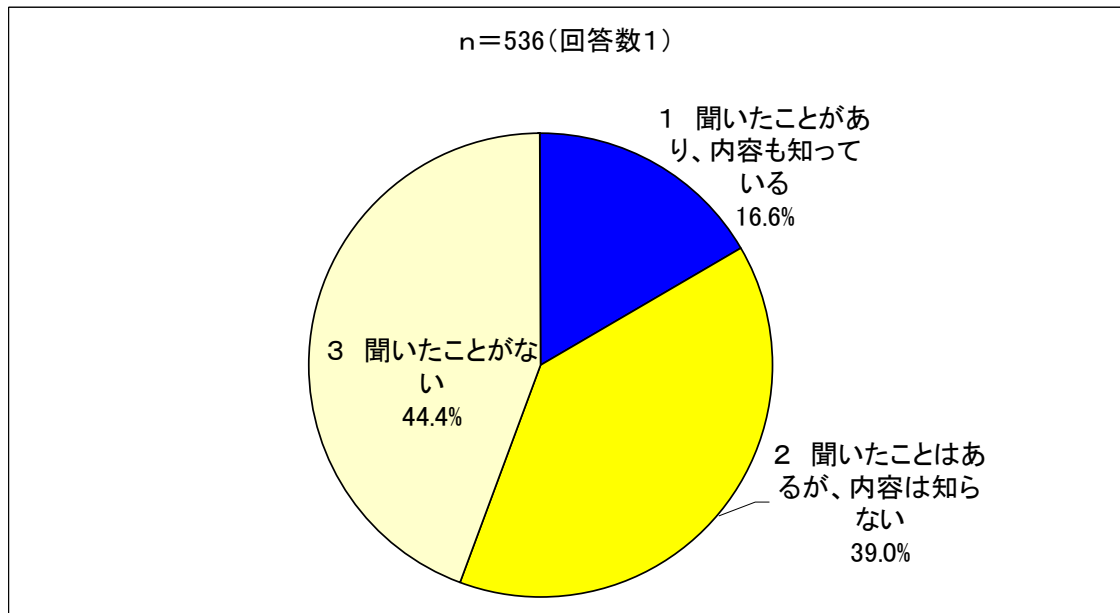
担 当：スポーツ・文化観光部総合教育局大学課  
電話番号：054-221-3557  
F A X：054-221-2905  
メー ル：daigaku@pref.shizuoka.lg.jp

○障害を理由とする差別の解消の推進等に関するアンケート

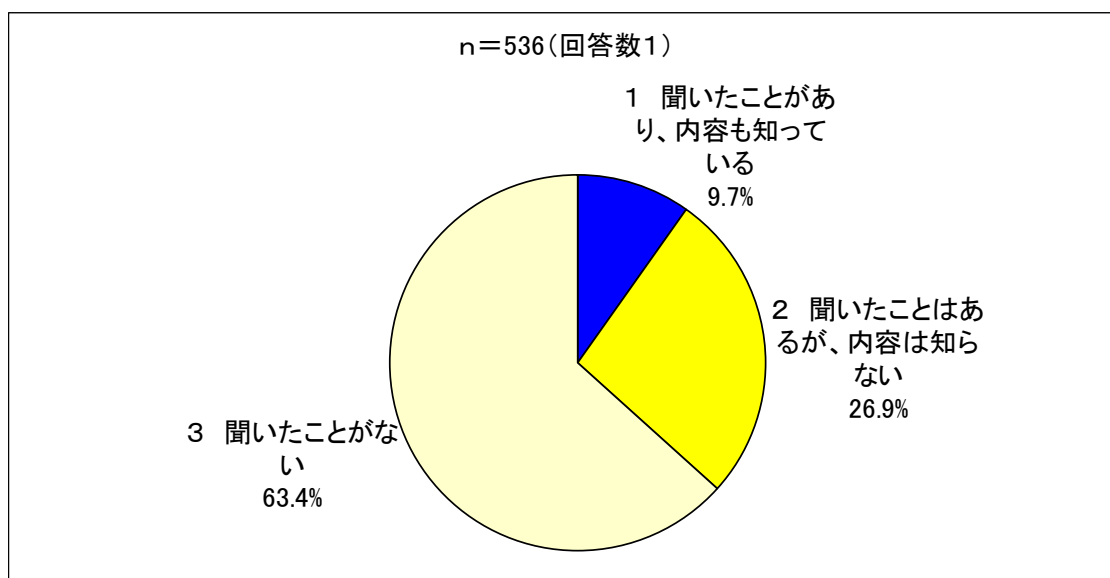
問1 あなたは、「障害者権利条約」を知っていますか。(回答数は一つ)



問2 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(回答数は一つ)

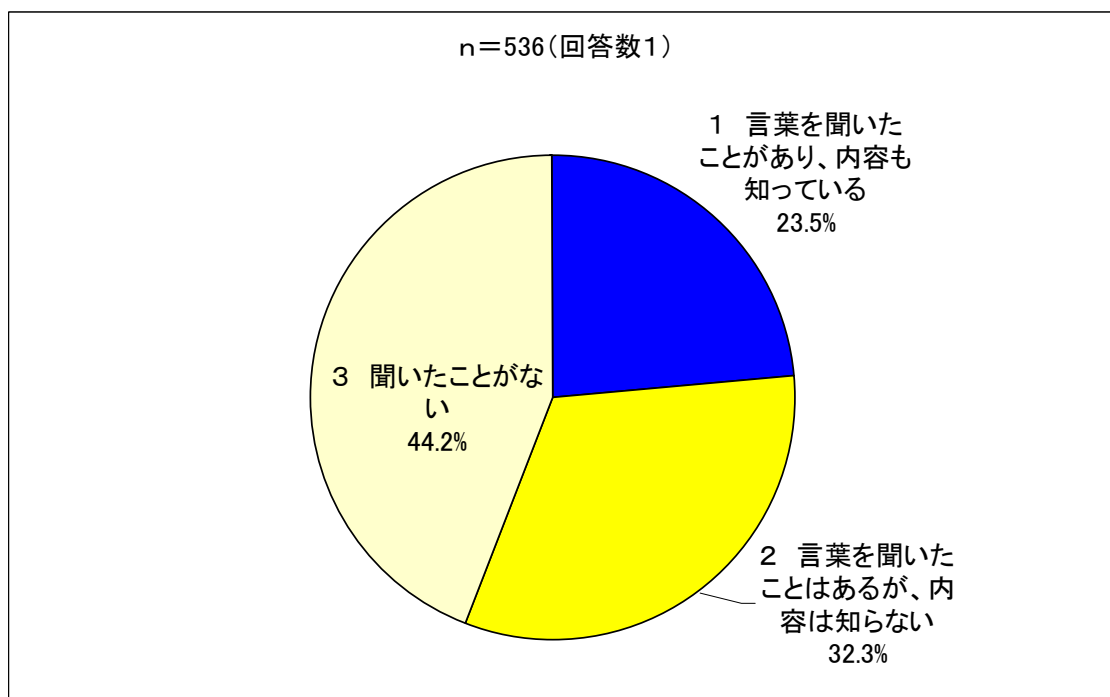


問3 あなたは、「静岡県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例（障害者差別解消条例）」を知っていますか。（回答数は一つ）

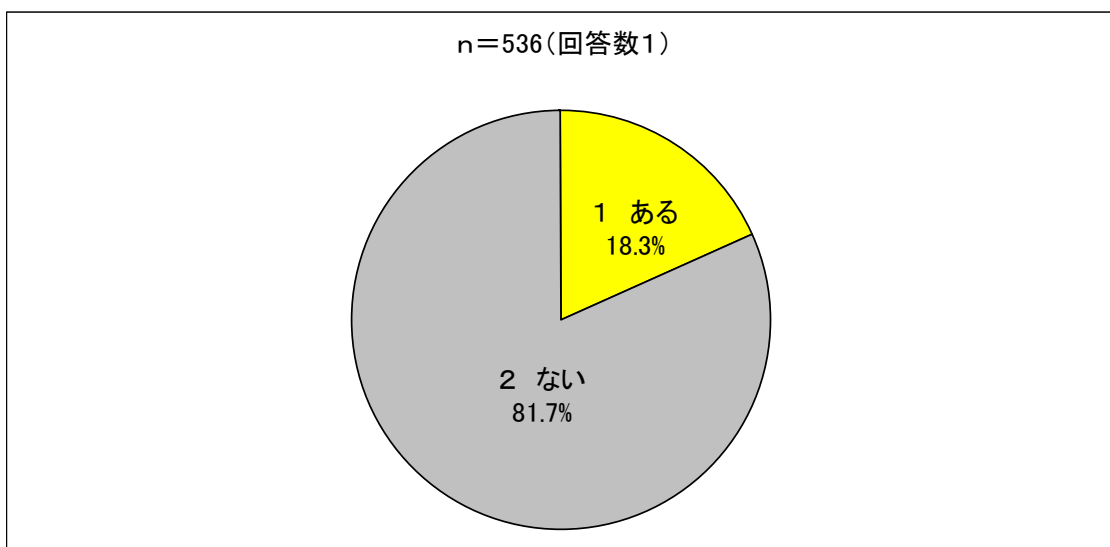


問4 障害者差別解消法により、行政機関や民間事業者には、障害のある人に対する「合理的配慮」※が求められるようになりました。あなたは、この考え方を知っていますか。（回答数は一つ）

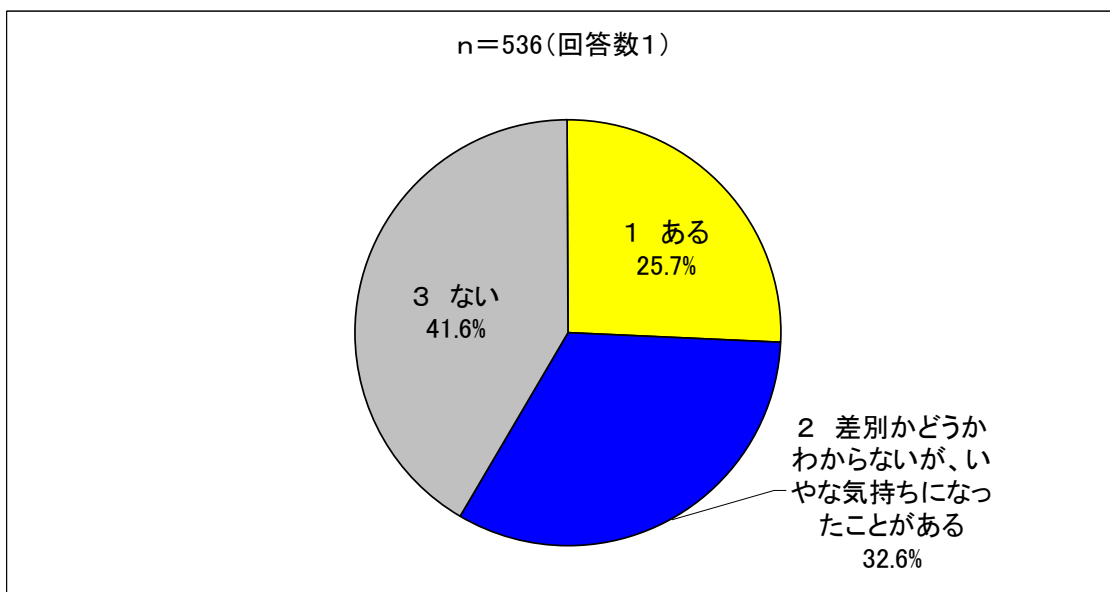
※「合理的配慮」とは、障害のある人が日常生活や社会生活を送る上で妨げとなる社会的障壁（バリア）を取り除くために、負担になりすぎない範囲で提供されるべき配慮（例：筆談や読み上げによる意思の疎通）のこと



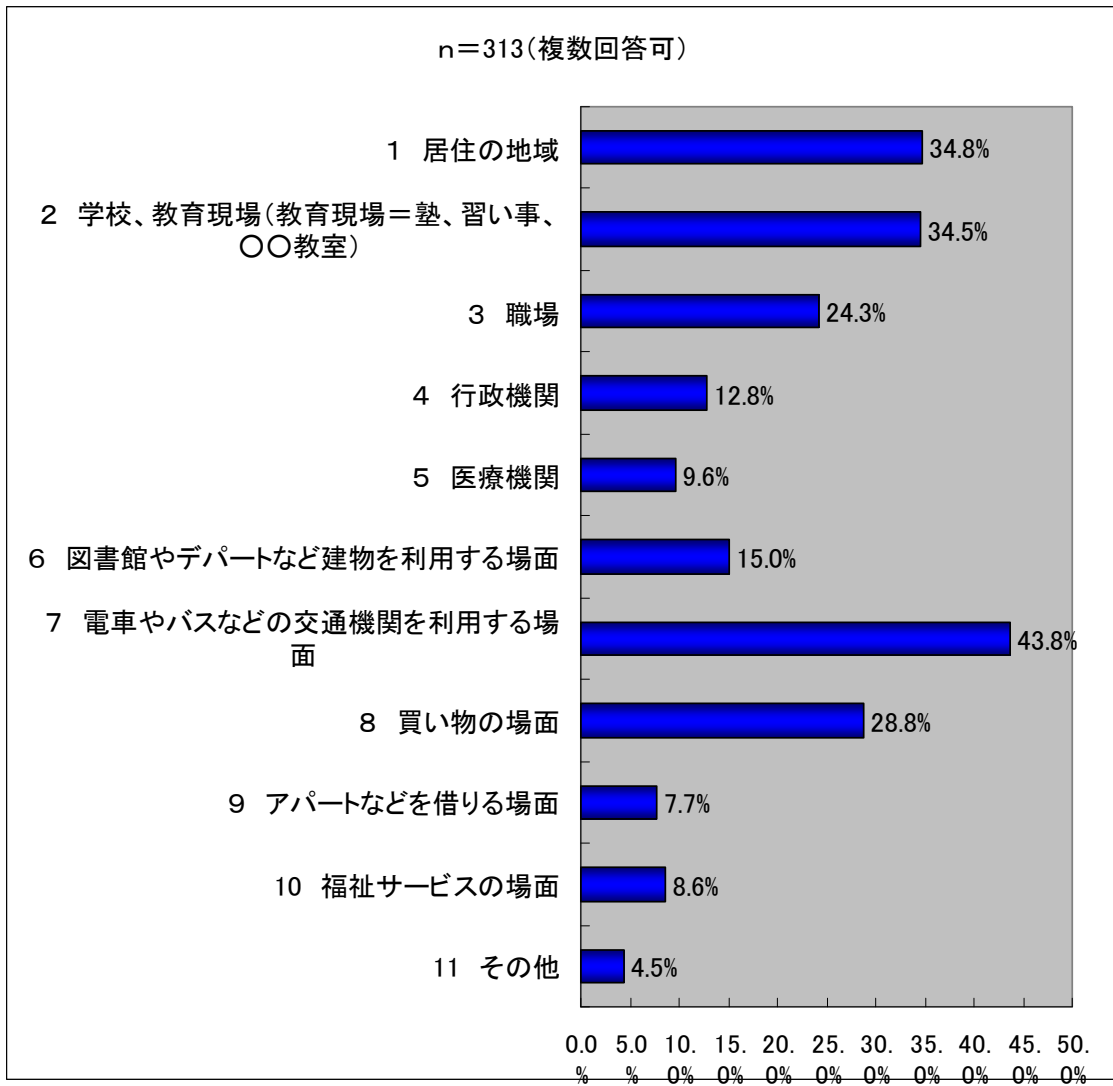
問5 県は、「障害者差別解消法」周知のために、ポスターを配布しています。あなたは、このポスターを見たことがありますか。(回答数は一つ)



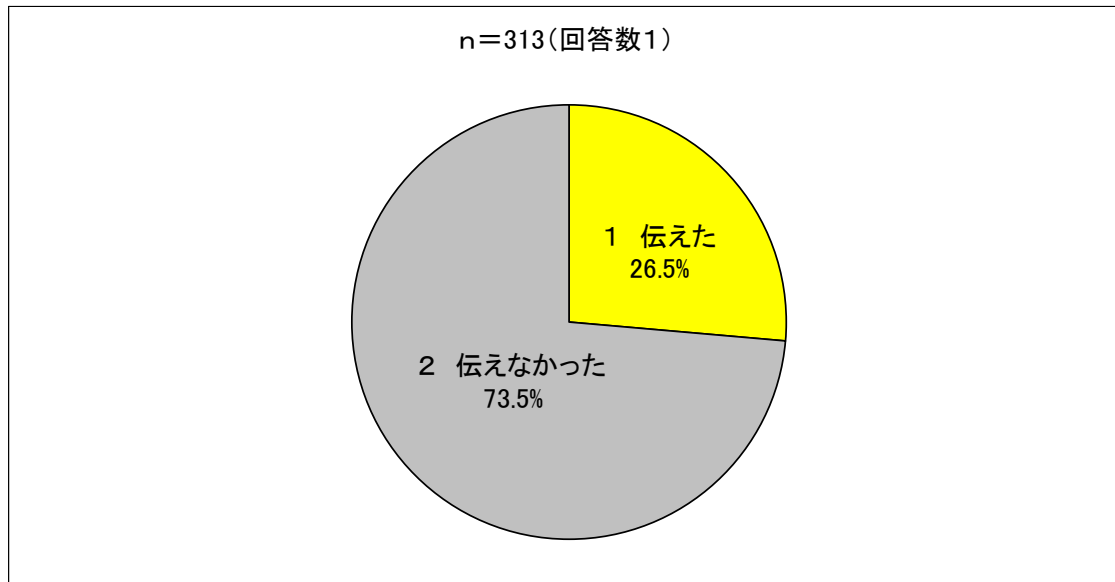
問6 あなたは、障害を理由とした差別を見たり、聞いたり、感じたりしたことがありますか。(回答数は一つ)



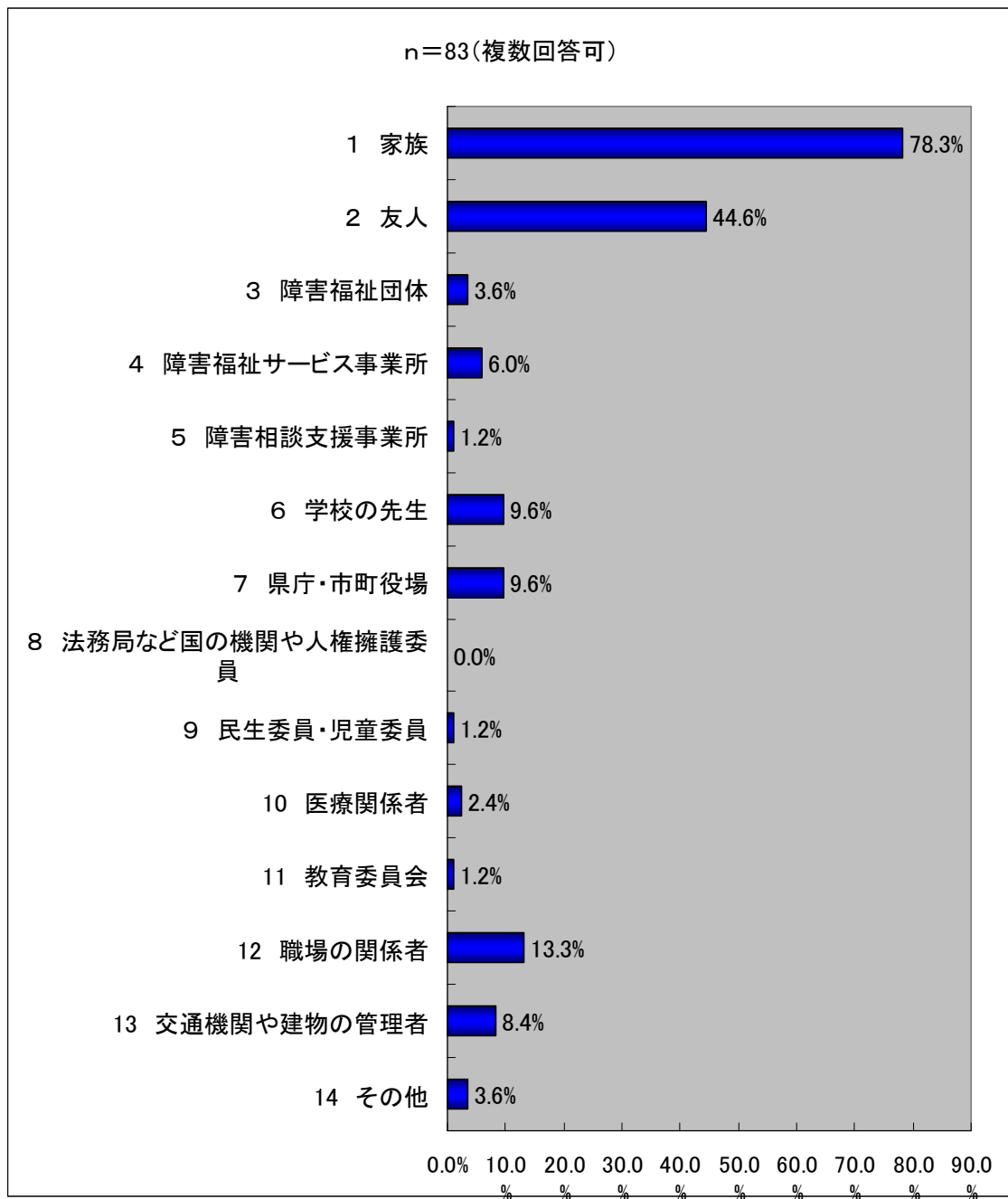
問6-2 問6で「1 ある」または「2 差別かどうかわからないが、いやな気持ちになったことがある」を選択された方に伺います。どのような場所や場面で差別を見たり、聞いたり、感じたりしたことがありますか。(複数回答可)



問6-3 6で「1 ある」または「2 差別かどうかわからないが、いやな気持ちになったことがある」を選択された方に伺います。差別と感じた出来事等について、誰かに伝えましたか。(回答数は一つ)

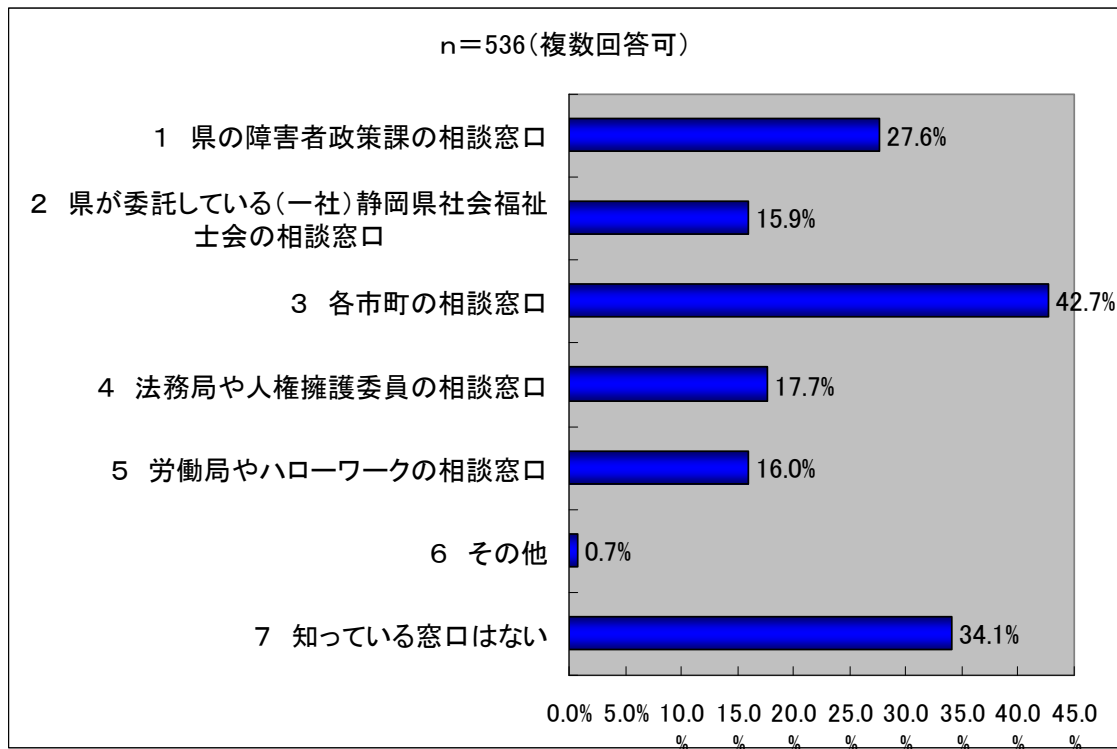


問6-3-2 問6-3で「1 伝えた」を選択された方に伺います。差別と  
感じた出来事等について、誰に伝えましたか。(複数回答可)

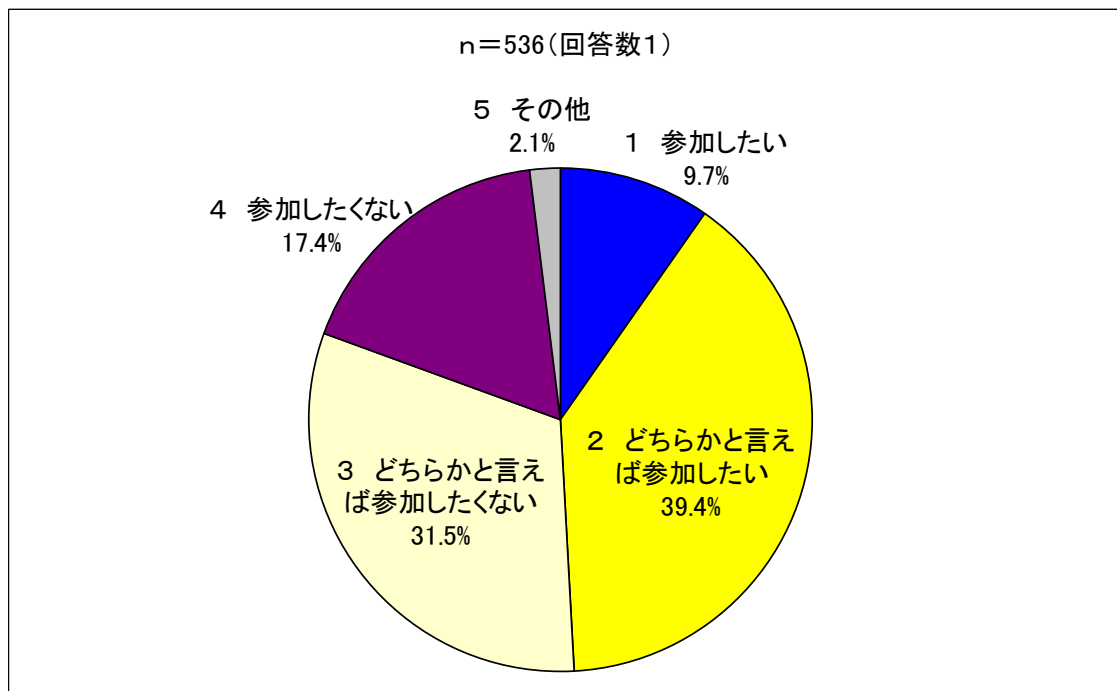




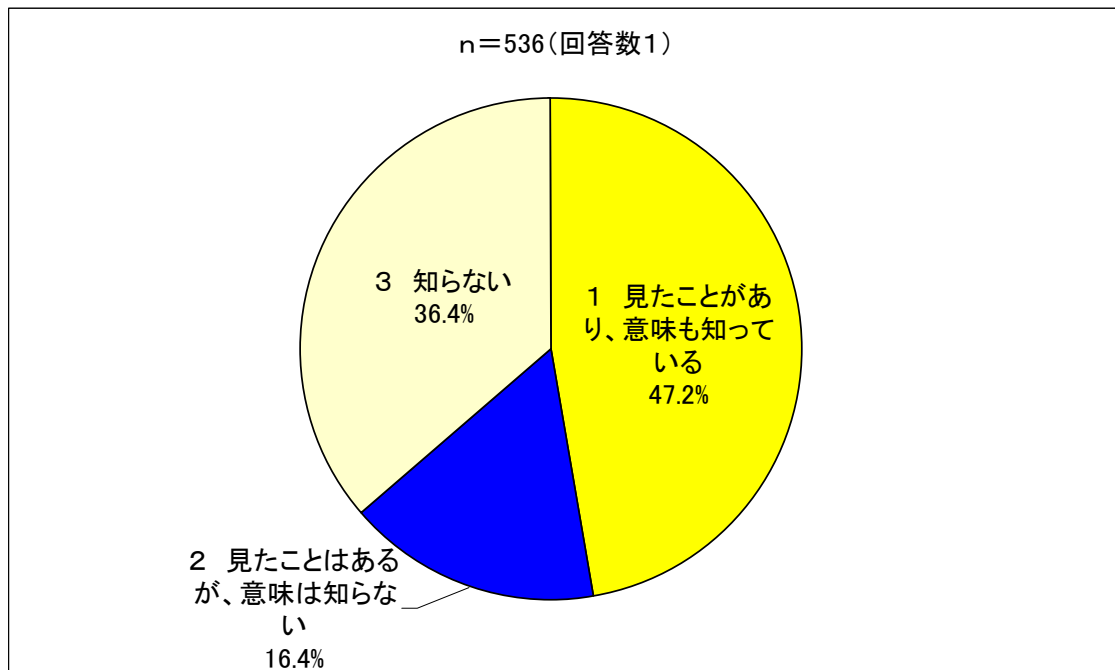
問7 障害を理由とする差別の解消に関する相談窓口は様々ありますが、以下の窓口の中であなたが知っているものはどれですか。(複数回答可)



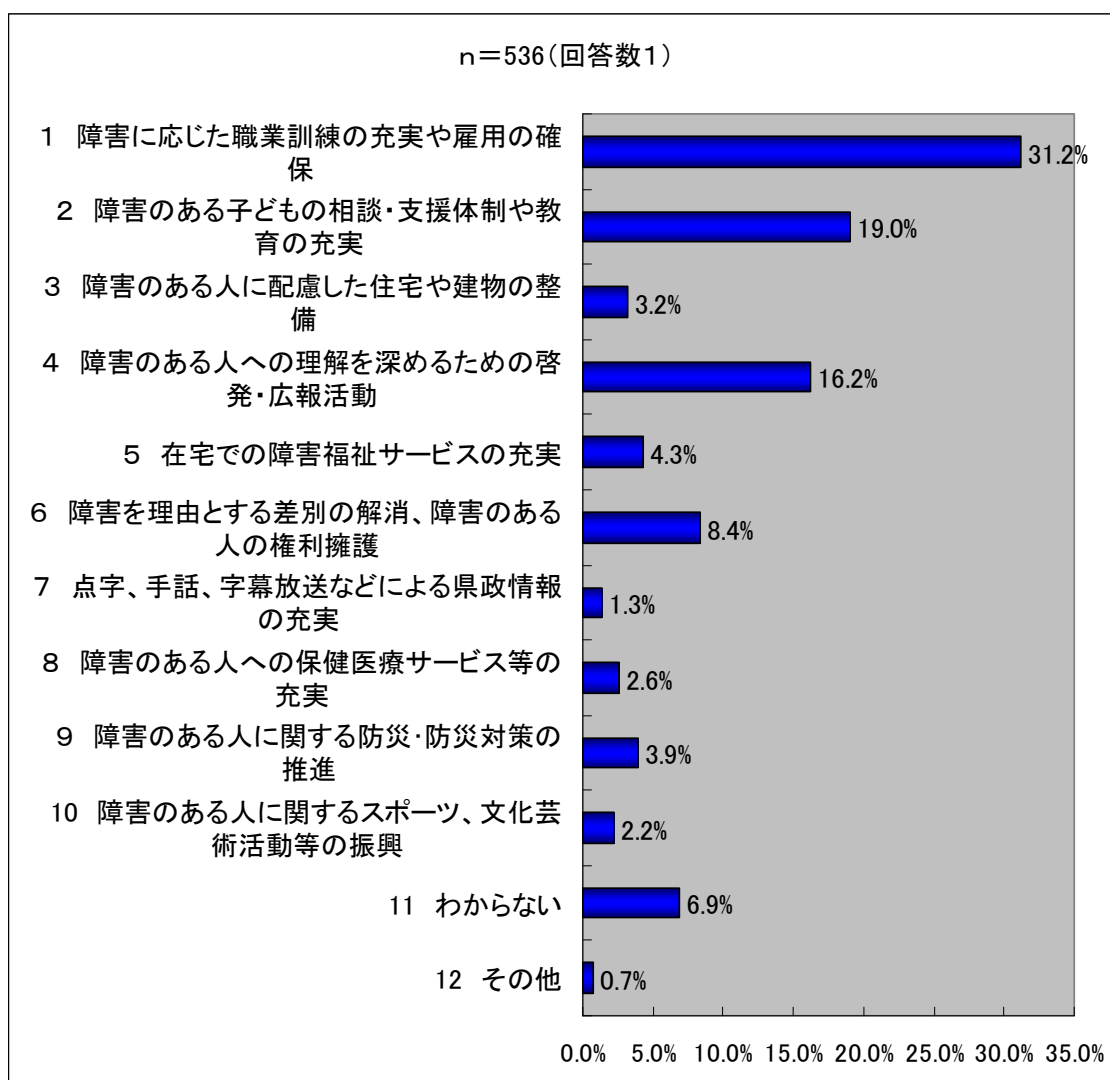
問8 あなたは、「障害を理由とする差別の解消」についての、講演会や研修会への参加を希望しますか。(回答数は一つ)



問9 あなたは、「ヘルプマーク」を知っていますか。(回答数は一つ)



問 10 障害のある人に関する県の施策のうち、あなたがもっとも力を入れる必要があると思うものは何ですか。(回答数は一つ)

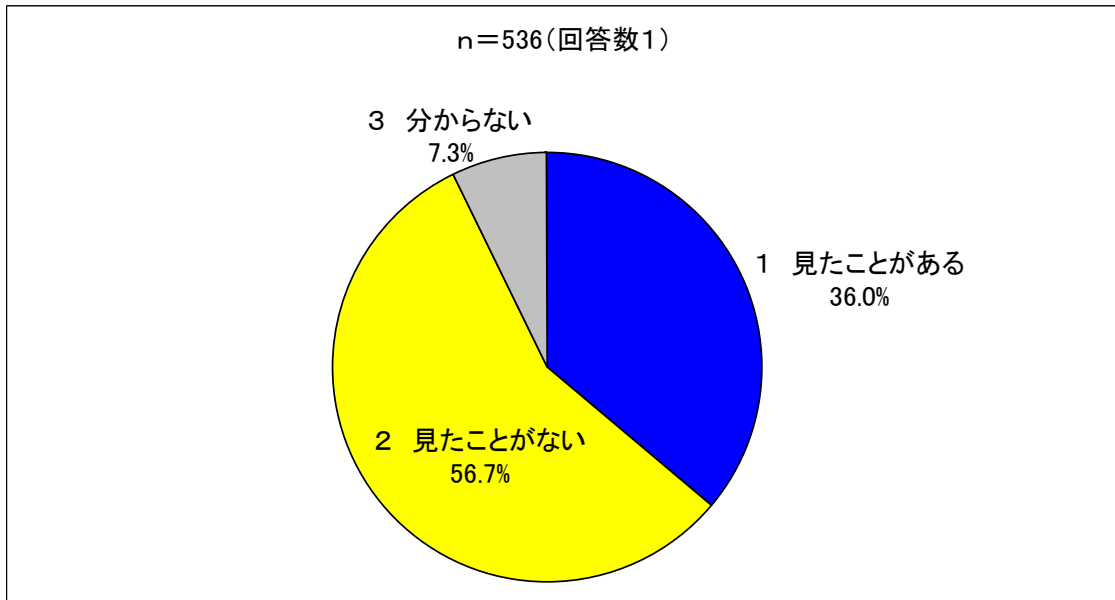


問 11 県の障害者差別解消施策について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。(500 文字以内)

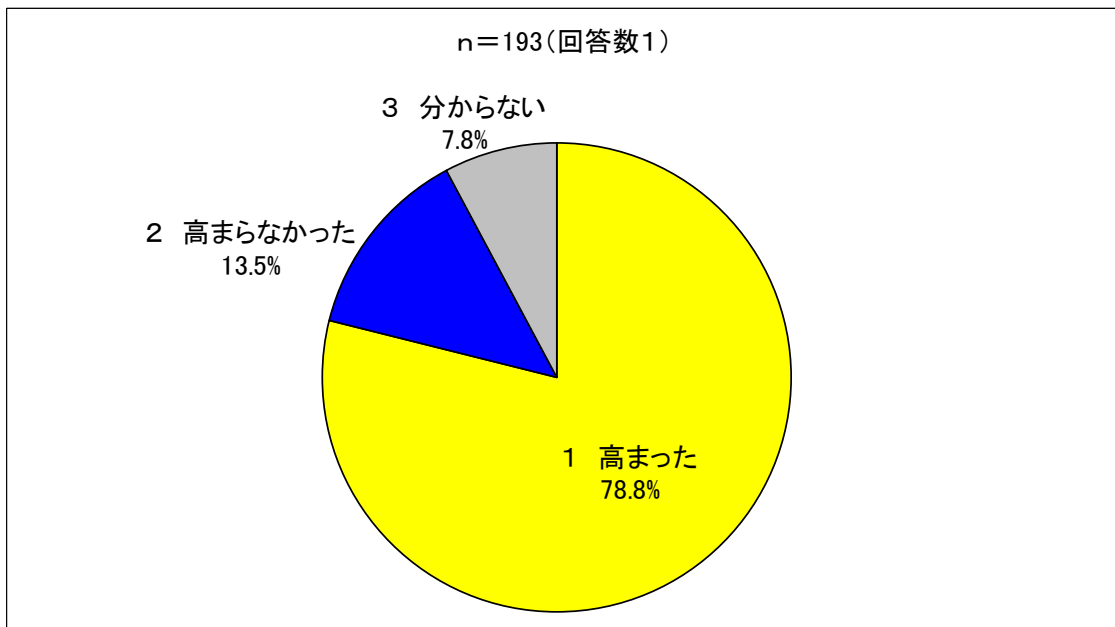
担 当：健康福祉部障害者支援局障害者政策課  
 電話番号：054-221-2352  
 F A X：054-221-3267  
 メ ー ル：shougai-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

○県警察が制作した特殊詐欺被害防止広報用テレビCMに関するアンケート

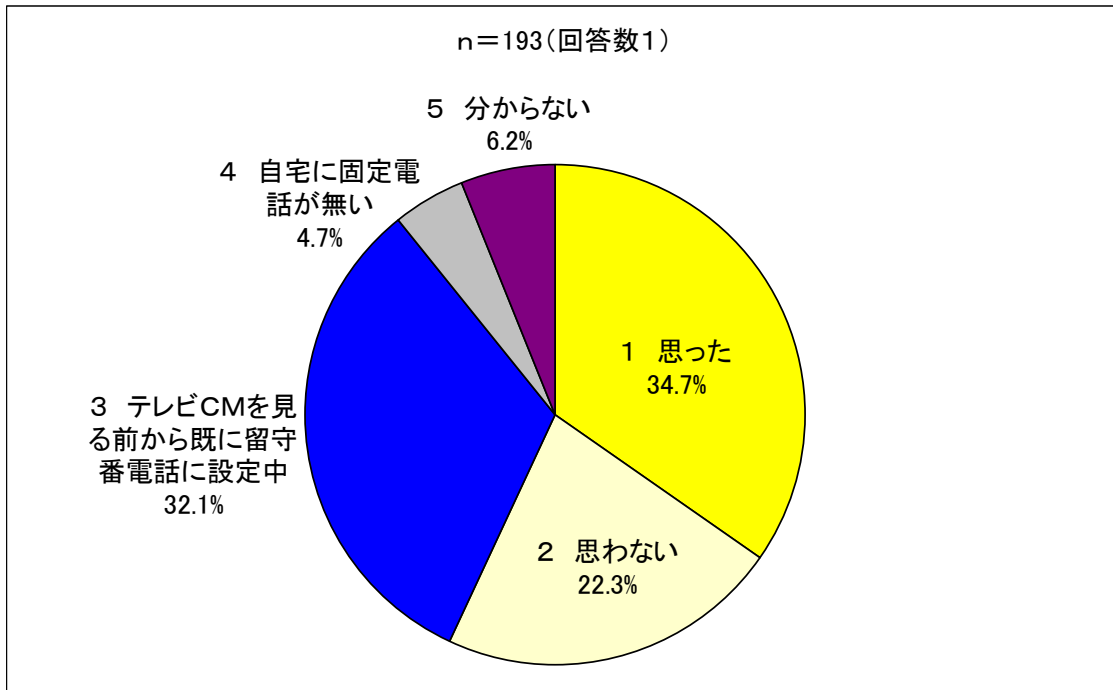
問1 静岡県警察が制作した、アポ電強盗をテーマとした特殊詐欺被害防止のテレビCMを見たことがありますか。(回答数は1つ)



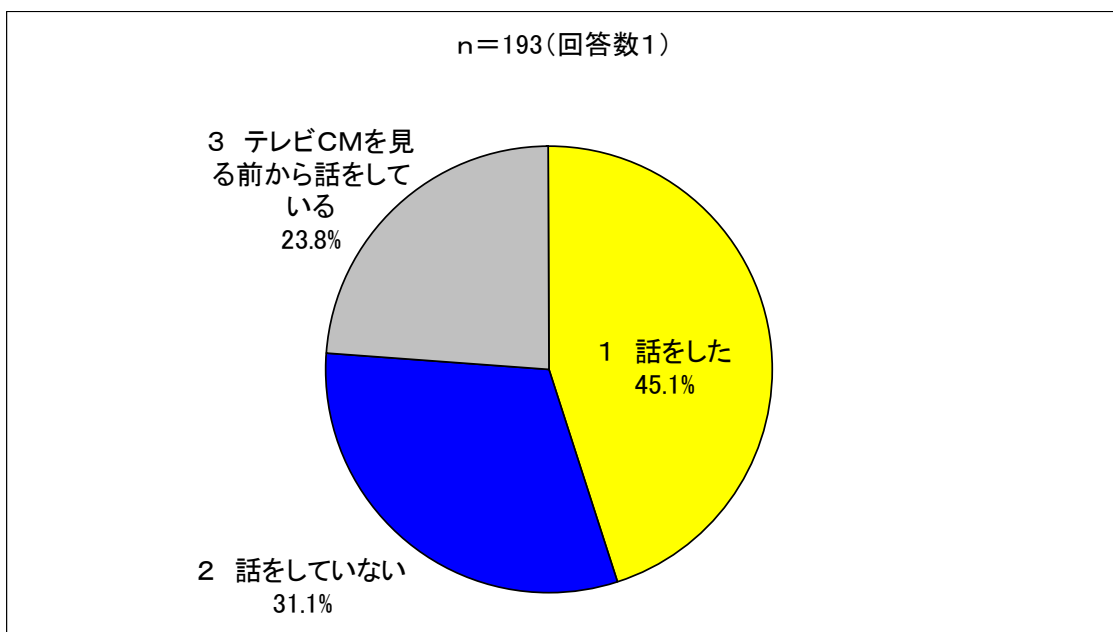
問1-2 問1で「1 見たことがある」を選択された方に伺います。テレビCMを見た結果、特殊詐欺に対する危機意識が高まりましたか。(回答数は1つ)



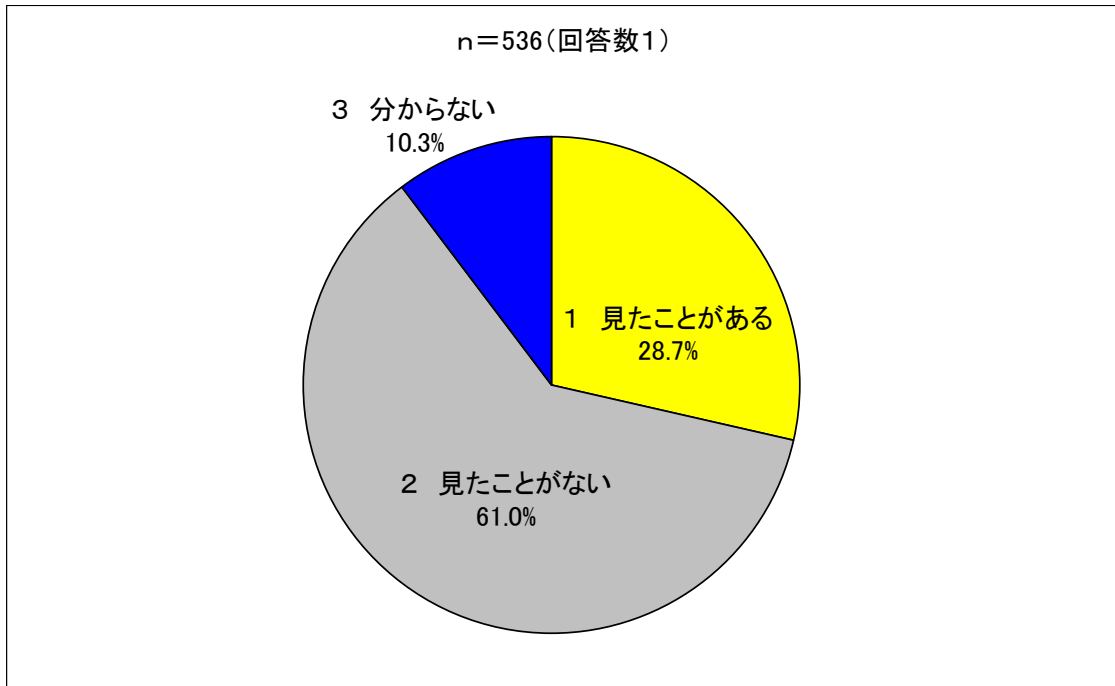
問1-3 問1で「1 見たことがある」を選択された方に伺います。テレビCMを見た結果、自宅の固定電話を、在宅中でも常に留守番電話にしておこうと思われましたか。(回答数は1つ)



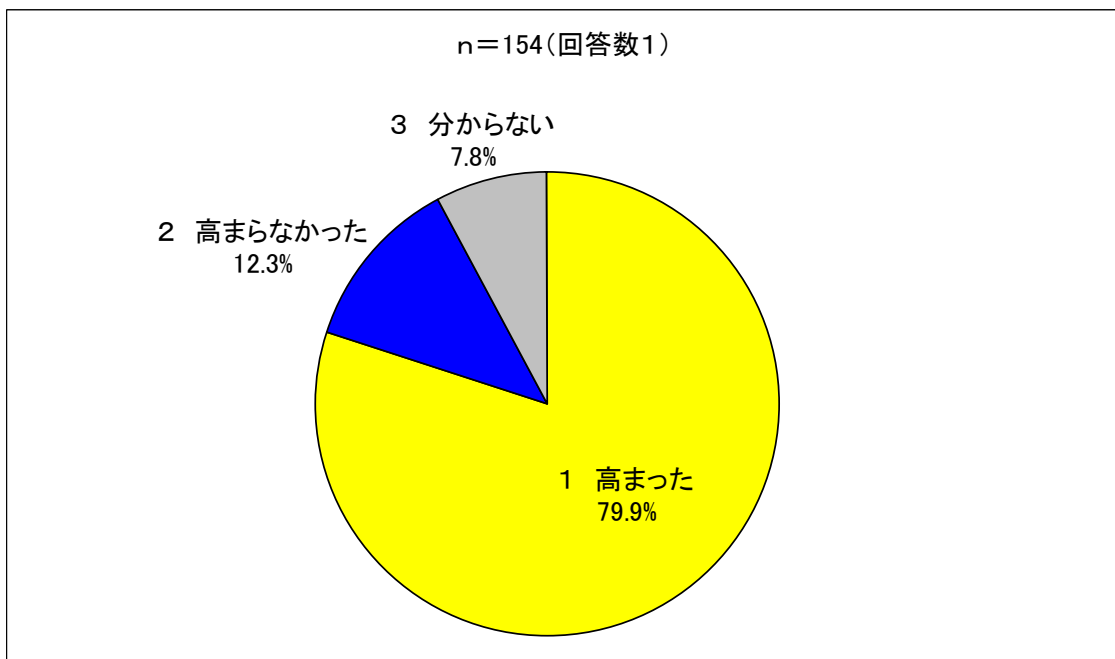
問1-4 問1で「1 見たことがある」を選択された方に伺います。テレビCMを見た結果、家族や知人等と特殊詐欺について話をしましたか。(回答数は1つ)



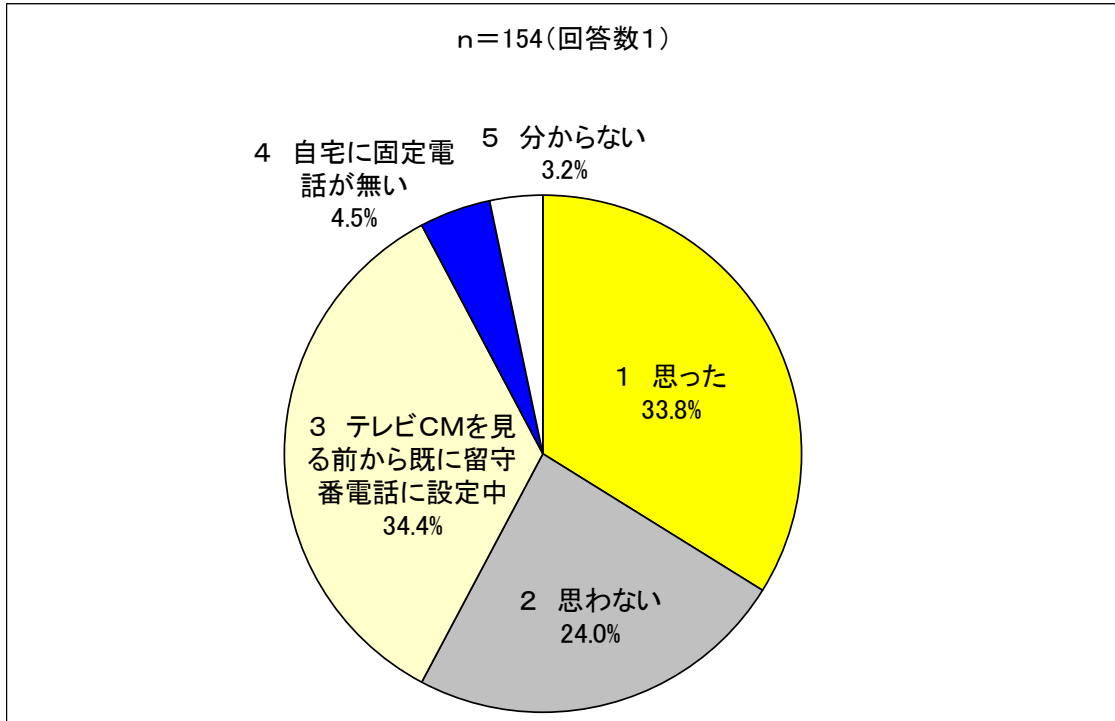
問2 静岡県警察が制作した留守電対策をテーマとした特殊詐欺被害防止のテレビCMを見たことがありますか。(回答数は1つ)



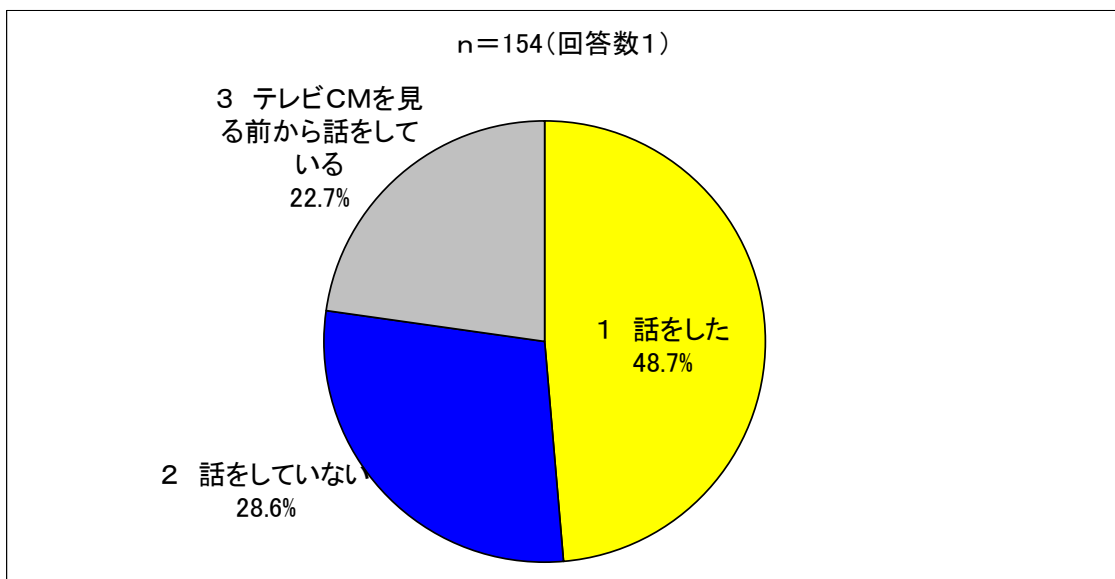
問2-2 問2で「1 見たことがある」を選択された方に伺います。テレビCMを見た結果、特殊詐欺に対する危機意識が高まりましたか。(回答数は1つ)



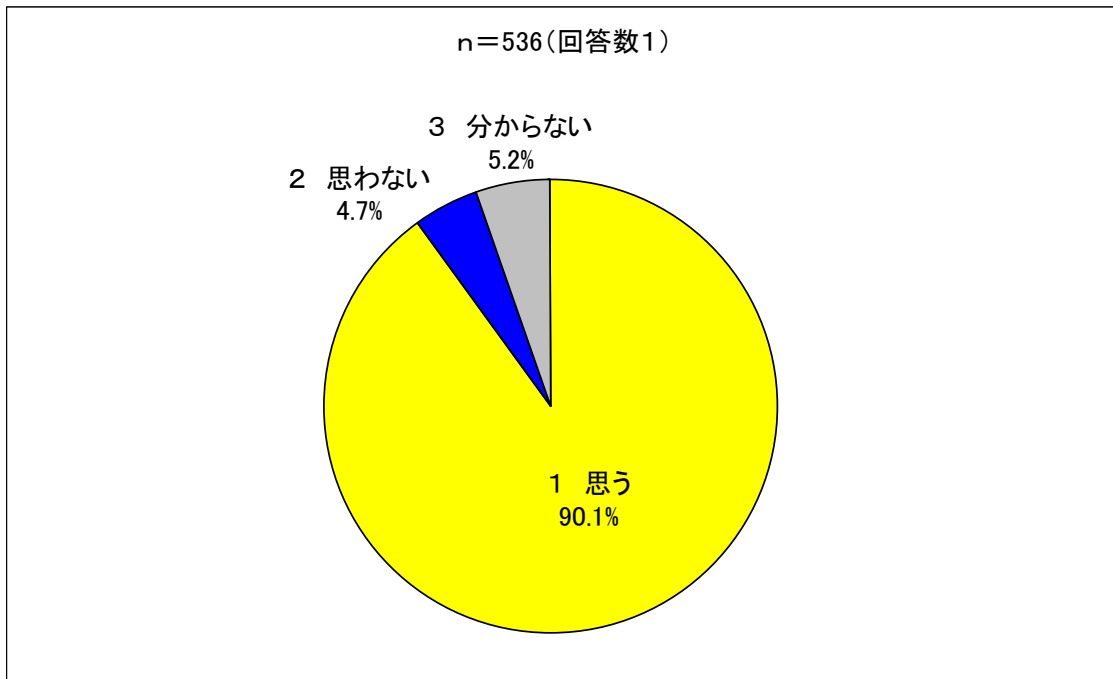
問2-3 問2で「1 見たことがある」を選択された方に伺います。テレビCMを見た結果、自宅の固定電話を、在宅中でも常に留守番電話にしておこうと思いましたか。(回答数は1つ)



問2-4 問2で「1 見たことがある」を選択された方に伺います。テレビCMを見た結果、家族や知人等と特殊詐欺について話をしましたか。(回答数は1つ)



問3 今後もテレビCMによる特殊詐欺に関する注意喚起は必要だと思いますか。(回答数は1つ)



問4 特殊詐欺被害防止対策について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。(500字以内)

担 当：静岡県警察本部生活安全企画課  
電話番号：054-271-0110  
F A X：054-250-0111